

○ 本校の概要

本校は、令和元年に95周年を迎え、常に地域と密接にかかわりながら、発展してきた学校である。これからの教育を見据え、校内研究を柱に、「問題解決的な学習活動を通して」児童自ら考え、判断し、表現できる児童の育成を目指し、全教職員で教育活動を実践している。一方で基礎的な学力の定着も課題であり、授業改善を行いながら粘り強く日々の授業を展開している。その結果、少しずつではあるが、区、都、国のいずれの学力調査においても、前年度より伸びが見られるようになってきている。学習習慣の定着と授業改善によって、今後もこの傾向を維持していく。また、生活面においては規範意識や基本的な生活習慣に關して課題が見られ、生活指導部を中心に「大3小1のやくむ」の改善とその定着に取り組んできた。この中で、「あいさつがきちんとできる学校」を目指し、あいさつ運動等の取り組みにより、地域からも認められる成果を得るまでに至っている。今後この点に力を入れ、家庭・地域との連携を強化し、規範意識の向上・基本的な生活習慣の定着に努める。
・本校の特色として「地域との連携」を挙げることができる。「人とのかわり・地域とのかわり」と称して、近隣にある東邦大学や大森学園高校との連携や大森町、梅屋敷の二つの商店街を使った学習、「スクールサポートおおさん」を中心とした地域人材の活用による授業の展開などをより一層推進していく。

Table with 6 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄. The table contains detailed data for five planning items (プラン1-5) covering areas like communication skills, student learning, physical education, sports, and school-home cooperation.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。